



定例記者会見

「九州を支える広域防災拠点構想」の策定
について

世界チャレンジ支援基金の協力依頼について

「九州を支える広域防災拠点構想」 の策定について

目的

熊本が有している広域防災拠点としてのポテンシャルや優位性の明確化

熊本が九州を支える広域防災拠点として貢献していく自負

真に九州における広域防災拠点の役割を担えるように
基盤や機能の充実・強化を促進

「九州を支える広域防災拠点構想」 の策定について

背景

南海トラフ巨大地震被害想定 (H24.8 内閣府公表)

- 九州東沿岸では甚大な被害が発生
- 県境を越える広域的な災害対応体制の整備が必要

【鹿児島県】

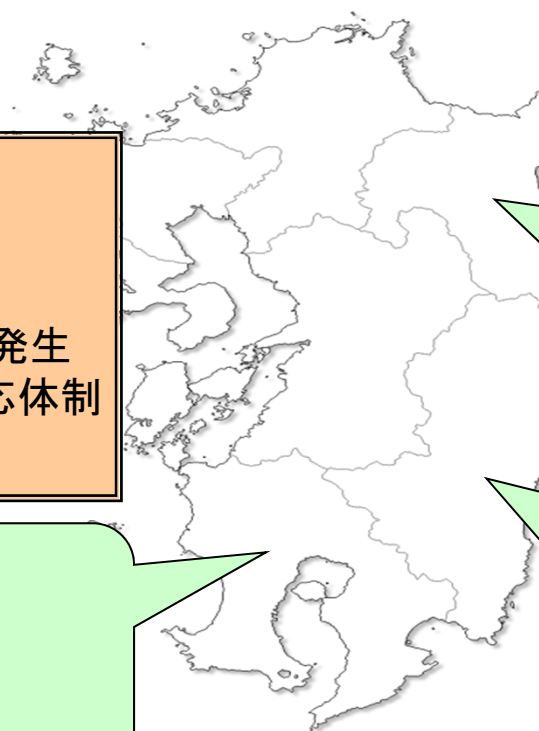
震度:6弱
死者数:1,200人
建物全壊棟数:5,900棟

【大分県】

震度:6強
死者数:17,000人
建物全壊棟数:31,000棟

【宮崎県】

震度:7
死者数:42,000人
建物全壊棟数:83,000棟

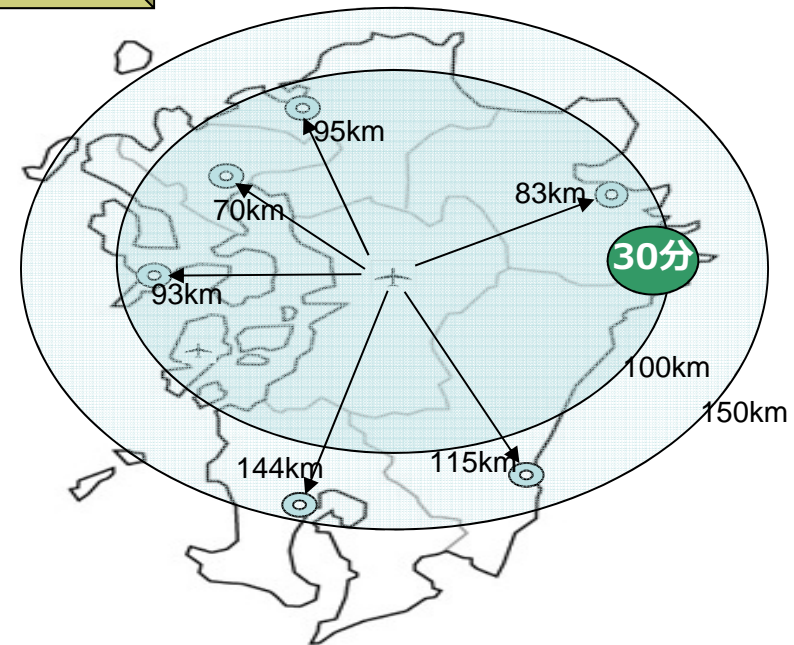


「九州を支える広域防災拠点構想」 の策定について

熊本のポテンシャル・優位性①

■九州の中央に位置する

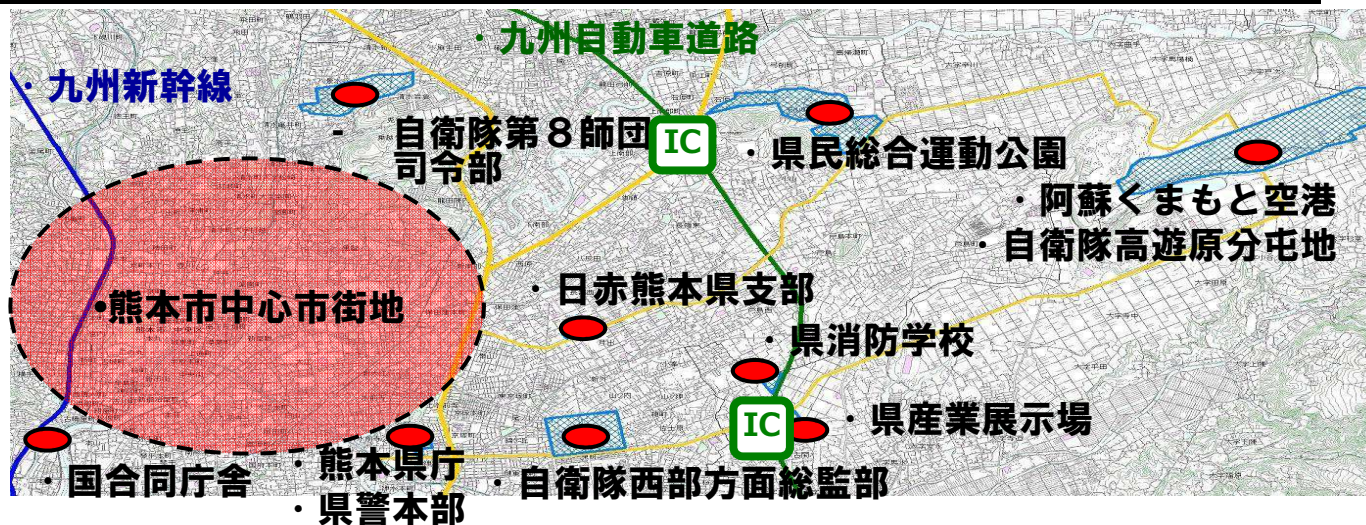
⇒各県までの距離が100
キロ(ヘリで30分)前後
で、活動拠点として最適



「九州を支える広域防災拠点構想」 の策定について

熊本のポテンシャル・優位性②

- 防災拠点としての指令機能を有している
- 災害時の医療拠点としての機能を有している 等



「九州を支える広域防災拠点構想」 の策定について

広域防災拠点への取組み①

1 九州地区の合同現地対策本部を
熊本県に誘致



2 ヘリコプターを活用した情報収集体制の充実強化

⇒阿蘇くまもと空港へのヘリ拠点施設、格納庫整備検討

3 支援物資集積拠点となる県産業展示場等の整備

⇒県産業展示場、天草空港の機能強化

「九州を支える広域防災拠点構想」 の策定について

広域防災拠点への取組み②

4 支援部隊の集結拠点となる阿蘇くまもと空港等の整備

⇒防災上の拠点空港としての位置付け要望 等

5 広域医療搬送拠点や災害医療提供体制等の充実強化

⇒災害医療資機材保管施設等の整備要望 等

6 水・食料・医薬品等の供給体制の充実強化

⇒民間事業者との連携拡大 等

7 横軸をはじめとした交通基盤整備の加速化



世界チャレンジ支援基金の状況



平成25年度は4,000万円を目標に積み立てる予定
(県積立金:2,000万円、寄附金:2,000万円)

平成25年度の寄附申し出額 1,135万円

[H26.1.15現在]

基金を活用した事業(H25)

くまもと若手芸術家海外チャレンジ事業

若手芸術家たち8名の海外レッスンなどを応援。



熊本県州立モンタナ大学高校生派遣事業

高校生15名をモンタナ大学に派遣。語学研修やホームステイなどを実施。

